

令和 6 年度決算のポイント



令和 6 年度決算の特徴 ・ ・ ・ ・ ・ 1

令和 6 年度決算の状況 ・ ・ ・ ・ ・ 2

主な財政指標の推移 ・ ・ ・ ・ ・ 7

令和6年度決算の特徴

実質収支の確保

○一般会計では、歳入において、市税や地方消費税交付金が予算に比べ増収となったこと、また、歳出において、効率的な予算執行に努めたことにより、実質収支は前年度並みの29億8,200万円となった。

財政の健全性の維持

○全会計市債残高は対前年度比37億円の減で9,530億円となるとともに、基金借入金残高を着実に削減し、対前年度比10億円の減で147億円となるなど、「千葉市中期財政運営方針」を踏まえた財政運営に努めた。なお、財政調整基金残高は対前年度比50億円の減で99億円となった。

物価高騰への対応

○市民の暮らしを守るとともに、社会経済活動の維持・向上を図るため、定額減税調整給付金や低所得世帯に対する価格高騰重点支援給付金の支給といった国の取組みへの的確な対応に加え、本市独自の施策として学校・保育施設等給食費支援や中小企業者エネルギー価格等高騰支援などの取組みを実施した。

令和6年度決算の状況①

概況

【会計別歳入歳出決算額及び実質収支】

(単位:百万円)

会 計		歳入決算額	歳出決算額	形式収支	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支
一般会計		529,470	525,677	3,793	811	2,982
特別会計(13会計)		336,078	333,389	2,689	134	2,555
会 計		収入額	支出額	形式収支	当年度純損益 (税抜)	累積欠損金 (税抜)
企業会計 (4会計)	収益的収支	57,859	57,649	210	△ 584	
	病院	24,502	25,760	△ 1,258	△ 1,272	△ 4,991
	資本的収支	27,111	39,113	△ 12,002		
全会計合計		950,518	955,828			

※各会計毎に表示単位未満を四捨五入しているので、合計と一致しない場合がある。

※企業会計の資本的収支の不足額は、内部留保資金等で対応した。

令和6年度決算の状況②

決算規模

○一般会計の決算規模は、

歳入 5,295億円（対前年度比 232億円増 4.6%増）

歳出 5,257億円（対前年度比 232億円増 4.6%増）

⇒歳出は、令和2年度に次いで、過去2番目の規模となった。



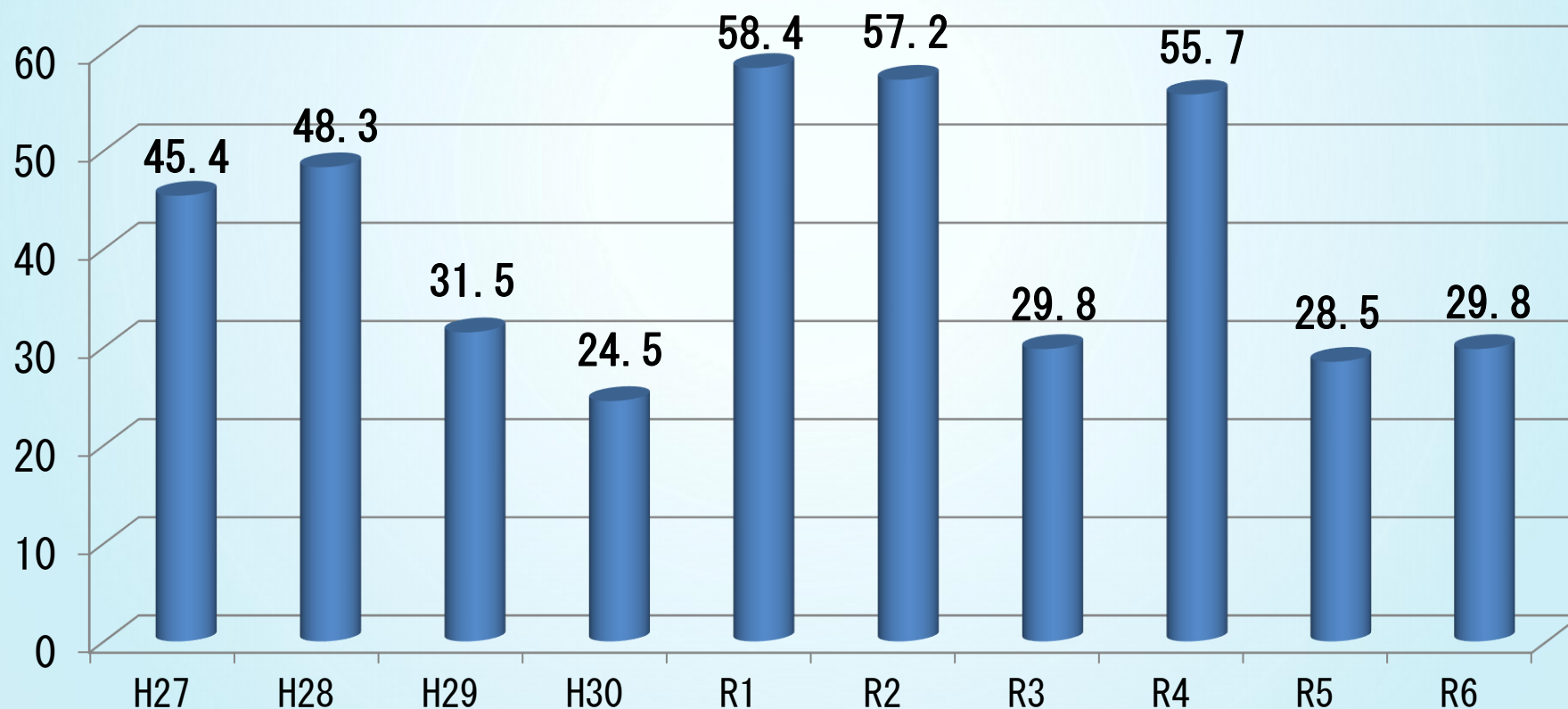
令和6年度決算の状況③

実質収支

○一般会計では、歳入において市税や地方消費税交付金が予算に比べ増収となったこと、また、歳出において効率的な予算執行に努めたことにより、30億円の実質収支（黒字）を確保

単位：億円

一般会計実質収支の推移（H27～R6）



令和6年度決算の状況④

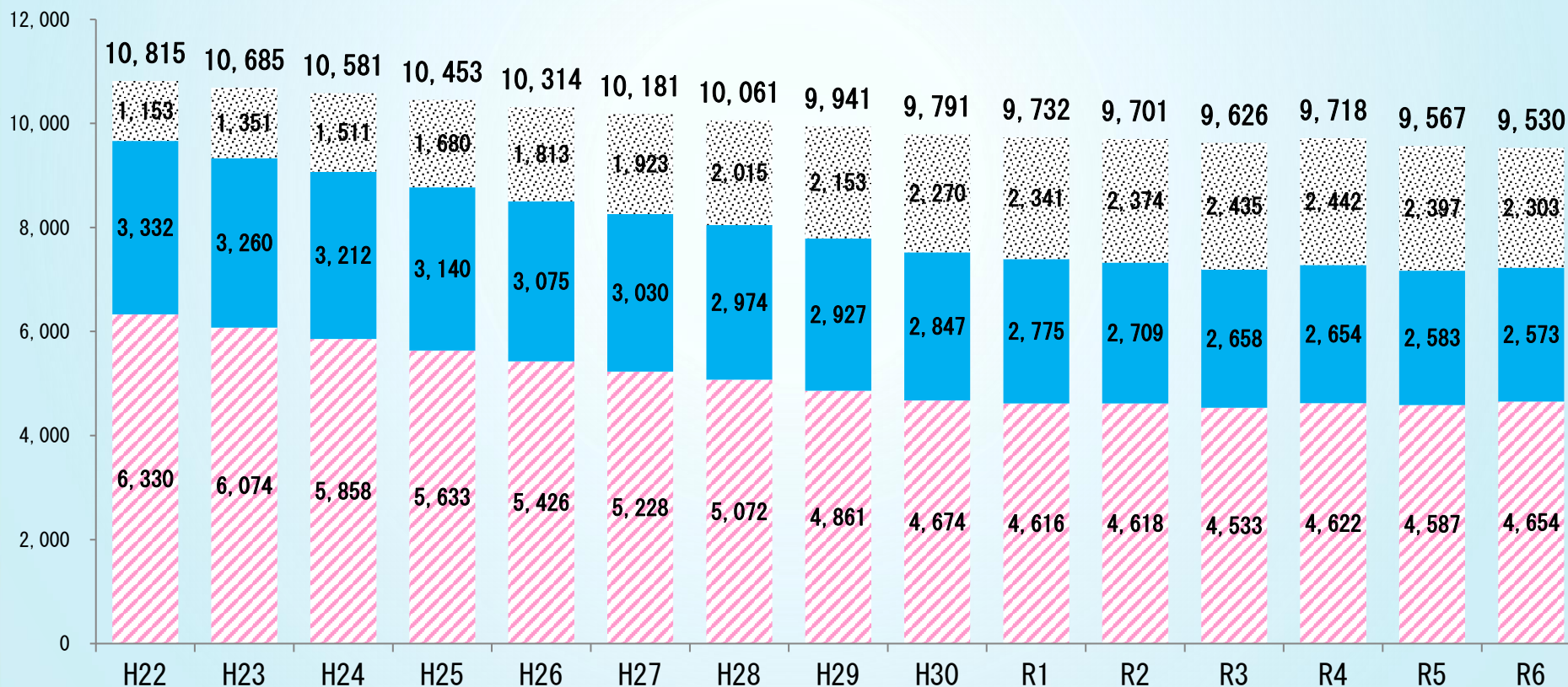
市債残高

○市債残高は、対前年度比37億円の減

市債残高の推移（H22～R6）

普通会計分（臨時財政対策債除く） 公営企業分 臨時財政対策債

単位：億円



令和6年度決算の状況⑤

基金借入残高

○一般会計の収支均衡を図るために実施している基金借入の残高は、着実に削減（対前年比△10億円）

基金借入残高の推移（H27～R6）

単位：百万円

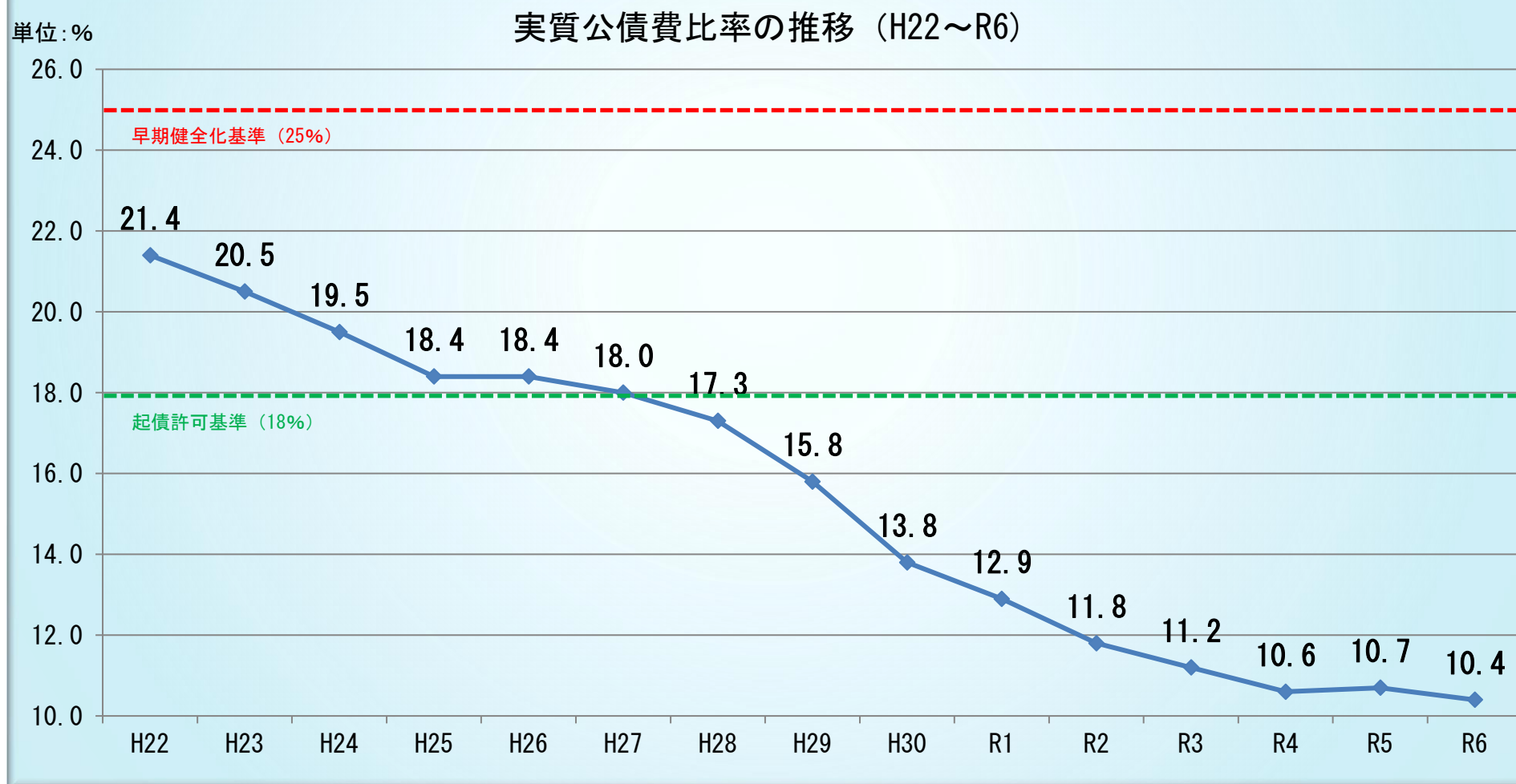


主な財政指標の推移①

実質公債費比率

（公債費等（地方債の元利償還金等）の標準財政規模に対する割合）

○実質公債費比率は低減（10.4%、対前年度比△0.3pt）

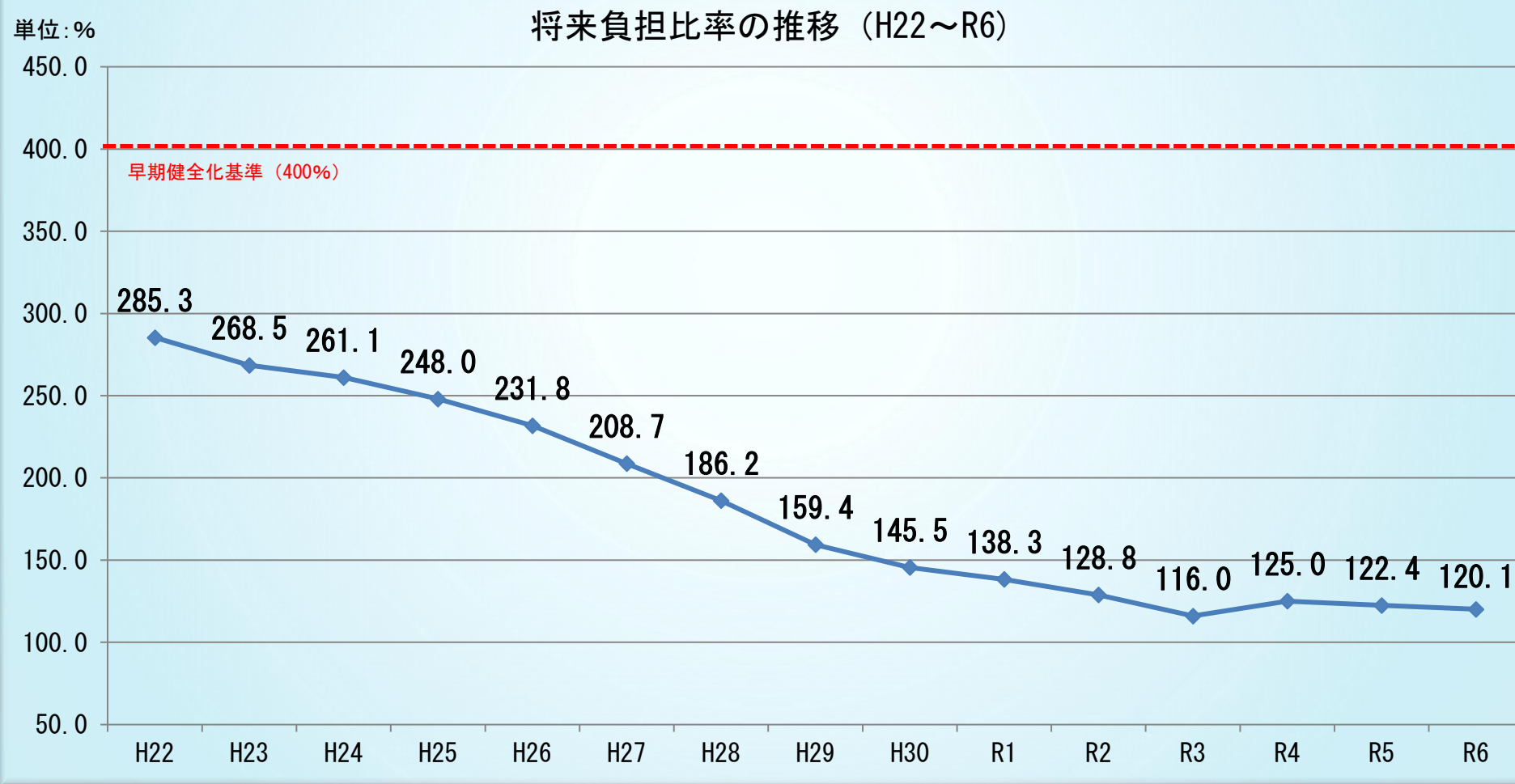


主な財政指標の推移②

将来負担比率

（将来負担債務の標準財政規模に対する割合）

○将来負担比率は低減（120.1％、対前年度比△2.3pt）

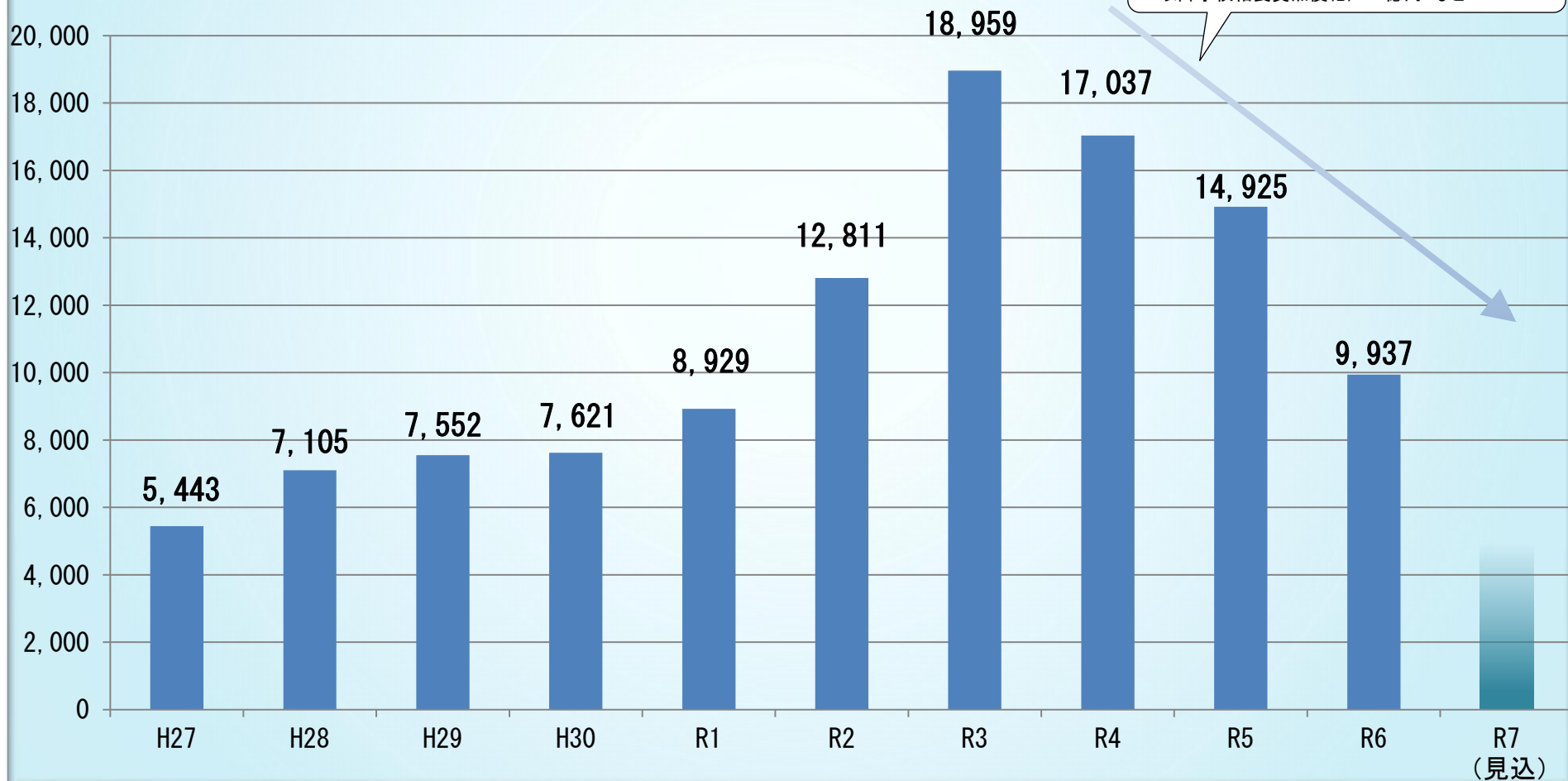


主な財政指標の推移③

財政調整基金

財政調整基金残高の推移（H27～R7見込）

単位：百万円



主な財政指標の推移④

資金不足比率

（公営企業ごとの資金の不足額の事業規模に対する割合）

○対象となる6会計でいずれも資金不足比率の発生はなし

（単位：％）

区分	法適用				法非適用	
	病院事業	下水道事業	農業集落排水事業	水道事業	地方卸売市場事業	動物公園事業
令和6年度	－	－	－	－	－	－
令和5年度	－	－	－	－	－	－
経営健全化基準	20.0					

（注）農業集落排水事業の令和5年度の値は、農業集落排水事業特別会計（地方公営企業法非適用事業）として算定したもの。